

大桑 第70号 9月号 まさたか



さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

市議員2期目

よろしくお願ひします！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑**まさたか**の政務調査費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

上郷開発について

大桑新聞でお知らせするのが遅くなりましたが、東急建設(株)が計画している上郷高校(瀬上の森)周辺の開発(上郷開発)について、7月の終わりに「今のままの計画での開発は認められない」という判断を横浜市がしました。

これにより東急建設(株)は、計画の大幅な変更が必要になりますが、完全に開発が止まったわけではありません。今回の開発は住宅や商業施設を作る計画となっていますが、計画を縮小したり老人ホームや資材置き場などを作るとなれば横浜市も「開発を認めない」という判断はしにくくなると思います。

瀬上の森を完全に守るためには、今までも大桑新聞で繰り返して書いている通り「横浜市がこの土地を買い取る」か「横浜市が所有している土地と開発が予定されている土地を交換」するしかありません。

大桑新聞

第70号(9月号)

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-892-5187

<http://m-okawa.net/>

E-mail : m-okawa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻、子(2人)、ママ(猫)、グリ(犬)

(ママとグリはそれぞれの実家にいます)

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

7月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成20年度7月現在の政務調査費累計残高は **366,522円**です。

今月の支出の内訳

研究会・研修会費	41,070円	会議費	0円
調査研究費	14,910円	事務費	11,377円
資料費	21,190円	事務所費	90,237円
広報・広聴費	147,318円	その他	0円
人件費	40,420円		

7月の支出合計は

359,352円です。

近況報告

第3回定例会(本会議)が、平成20年9月4日(木)から9月19日(金)で開催される予定となっております。

また、平成19年度決算についての特別委員会が第3回定例会に引き続き、9月26日(金)から10月15日(水)で開催される予定となっております。

次に、先月号でも書いた政務調査費の件ですが、前回、「その他」に計上した交通費を今回からは「研究会・研修会費」と「調査研究費」に振り分けて計上しています。

ちなみに、「研究会・研修会費」とは会派や議員が主催したり、外部機関が開催する市政に関する研究会・研修会に要する費用であり、「交通費」なども含まれます。

「調査研究費」とは会派や議員が市政に関する調査研究などをするために要する費用であり、「交通費」なども含まれます。

緑新税

横浜市は、表面で書いた上郷開発とは関係ないと言っていますが、私は現在、横浜市で議論されている緑新税を上郷開発が後押ししている面があると考えています。私が「上郷開発が緑新税を後押ししている」と考えている理由は、これまでも書いたことがあります。横浜市の緑被率(横浜市内の緑の総量)です。横浜市は住宅地などの増加により昭和50年(1975年)の約45%から平成16年(2004年)には約31%までに減少してしまったという事実があるからです(毎年約100haの緑が失われており、緑は毎年確実に減少しています)。ちなみに、今回の計画変更を迫られている上郷開発は約20haが開発予定となっていました。

また、毎年失われている緑の多くは「私有地」です。横浜市の土地であれば緑を壊すような大規模な開発などをさせないということは議会で決めることができます。

しかし「私有地」が開発されるとなれば話は難しくなります。最低限の法律などを守っている開発であれば(上郷開発も計画を変更してくれば)、横浜市としては開発を認めざるを得なくなる可能性が高くなります。

私は、緑地を保全するためには横浜市が緑地を買い取る以外に根本的な解決策はないと考えています。もちろん、増税を好む人はいません。無駄をなくしていく必要もあります。福祉にかかるお金が増えるなど様々なことを踏まえた上で、安定的に緑を守る財源を確保するためには緑新税の導入が必要だと私は考えております。

横浜開港150周年

横浜開港150周年(来年です)の記念式典が平成21年5月31日(日)にパシフィコ横浜で、記念イベントが平成21年4月28日(火)から9月27日(日)までみなとみらい地区や赤レンガ、山下公園などで開催されます。是非、足を運んで下さい。

大桑新聞

大桑新聞ではみなさまとともに、
栄区について考えていきたいと思っております。

FAX:045-892-5187